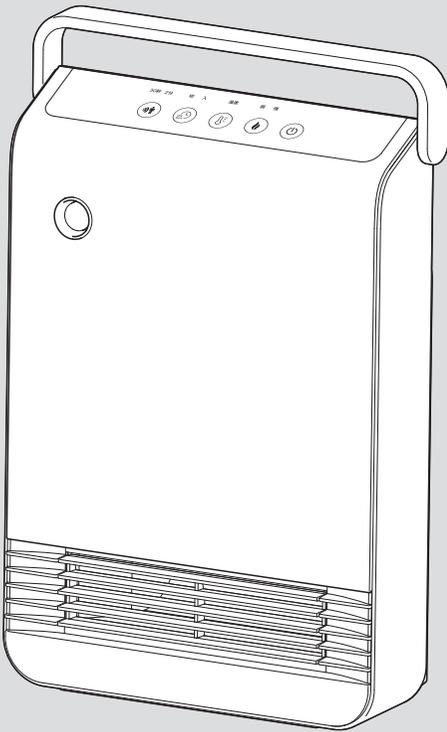


THREEUP

WOOD STYLE 節電/室温センサー付 セラミックヒーター

CH-T2517

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1～3
- パッケージ内容…………… 3
- 別売品…………… 3
- 仕様…………… 3
- 各部のなまえ…………… 4

ご使用前に

- 設置について…………… 5

ご使用方法

- 運転する(連続運転)…………… 6
- 暖房の強さを切り替える…………… 6
- 停止する…………… 7
- 風向きを変える…………… 7
- 温度設定モード(自動運転)…………… 8
- 節電センサーモード(自動運転)…………… 9
- オフタイマーを使う…………… 10
- オンタイマーを使う…………… 11

点検・修理

- お手入れと保管方法…………… 12～13
- コンセントの点検…………… 13
- 故障かな?と思ったら…………… 14
- 保証・サービス…………… 裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	----------------------------------	---	--------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様や取扱いに不慣れな方、ご自分で体温調節のできない方だけで使ったり、触れさせたりしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本体の変形によるショート、発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。
コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。
引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

長時間、身体の同じ場所を温め続けしないでください。
やけどや低温やけどの原因になります。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、温度調節を自分でできない方には周りの方が注意してください。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

電源をとるコンセントのすぐ下に本体を設置しないでください。
過熱により電源コードや電源プラグが損傷し、感電、火災、事故の原因になります。

温風吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。
衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。



必ず守る

電源は必ず家庭用100V電源（容量15A-1500W）を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、発熱による火災の原因になります。

警告

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。



必ず守る



必ず守る

靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

火災ややけどの原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置場所について、P.5「設置について」を必ずご確認ください。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コードや電源プラグ、本体などが触ることが出来ないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のおいがすることや、まれに少量の煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



接触禁止

運転中と運転停止直後は、温風吹出口やルーバーに触れないでください。

高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。

移動する際は運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- 落下、転倒などにより、ケガや事故、故障の原因になります。
- 安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。



禁止



禁止

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

壁や家具の近くで使用しないでください。過熱による変形や変色、火災の原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

- テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。
- 直接温風が当たると故障の原因になります。

はじめに

⚠ 注意

犬や猫などのペット用には使わないでください。

ペットが本体や電源コードを傷つけ、漏電や故障、火災の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

本体内部にホコリがたまり、本体内部が過熱するなど、事故や故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。



禁止

お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行ってください。火災ややけどの原因になります。



必ず守る

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

節電センサー部周囲の環境に注意して設置してください。

設置環境について、P.9「節電センサーモード（自動運転）」をご確認ください。



接触禁止

温風吹出口や吸気口の内部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。



禁止

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税抜）
吸気フィルター	1	500 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅26.5×奥行11.5×高さ36cm	本体重量	約2.1 kg
材質	PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強 (50Hz/1200W、60Hz/1100W)、弱/600W		
運転モード	ヒーター 2段階切替 (強/弱)、節電センサー (自動運転)、温度設定 (18 ~ 30℃)		
自動オフタイマー	10時間	節電センサー感知範囲	上下60°、左右60° (約2m)
機能	メモリー機能、減灯機能、手動ルーバー (上方向15°)		
オン・オフタイマー設定	1 ~ 8時間 (1時間単位)	コード長	約1.5 m
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ		
1時間あたりの電気代	約37.2円 (強/1200W連続運転時)		

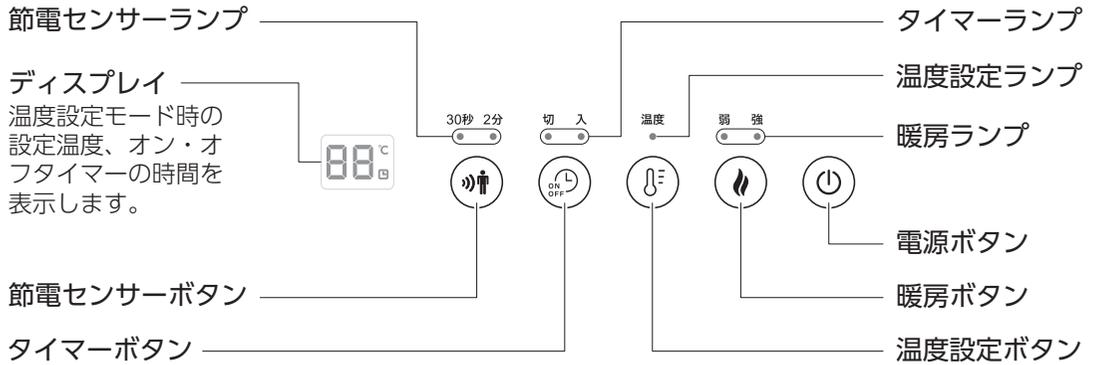
※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh (税込) で計算した際の目安となります。

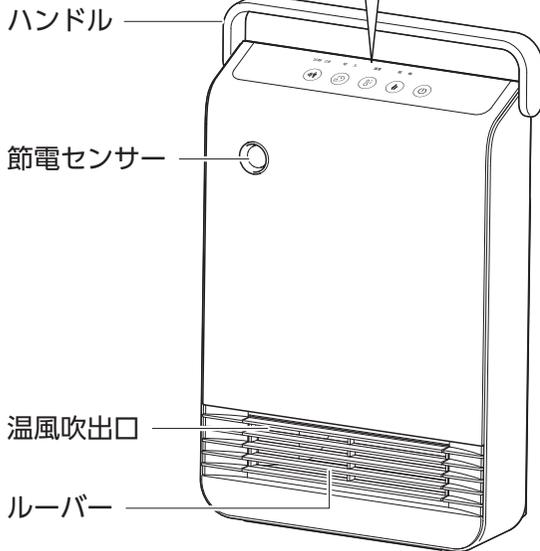
各部のなまえ

■ 本体

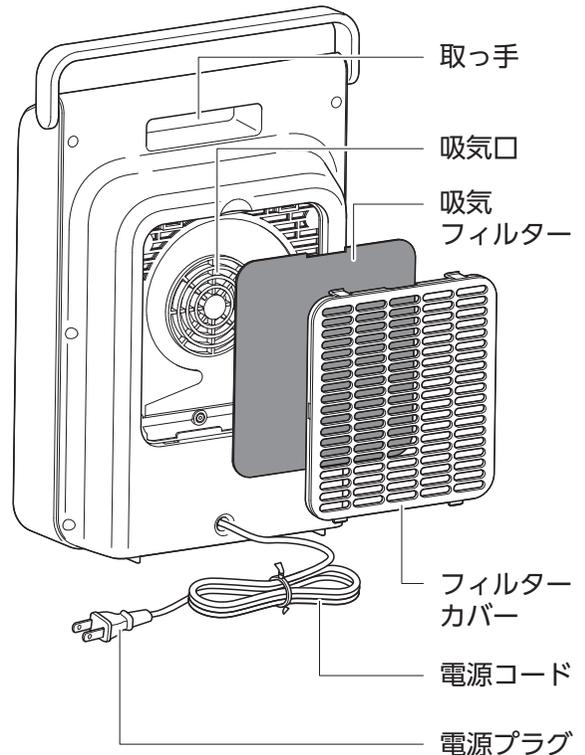
操作部



正面



背面



ご使用の前に

設置について

■ 設置条件

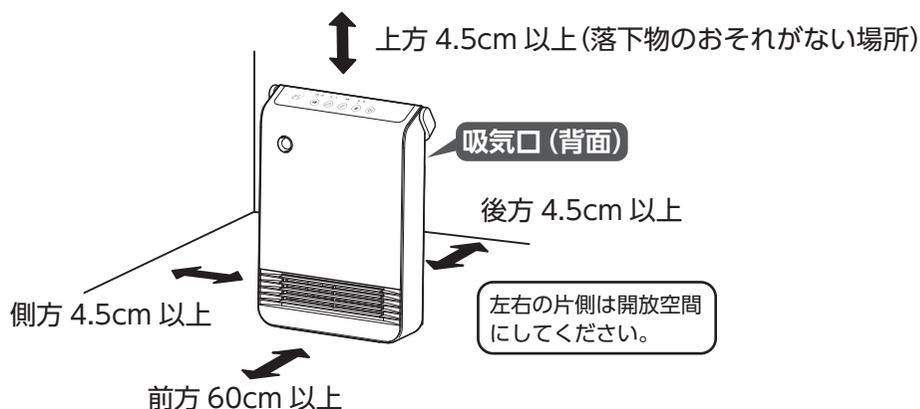
警告



必ず守る

下図の設置距離を必ずお守りください。

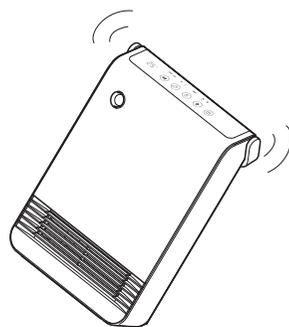
- 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
- カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。
また、本体の上に物をかぶせないでください。
- 本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平な場所に設置してください。



■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。
引き続きご使用になる場合は、水平な床面にもう一度設置すると運転を再開します。
- 本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。
その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

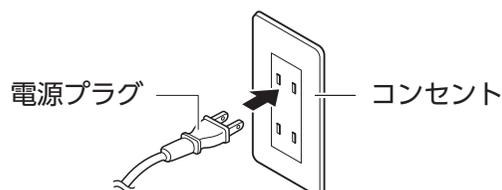
ご使用方法

運転する(連続運転)

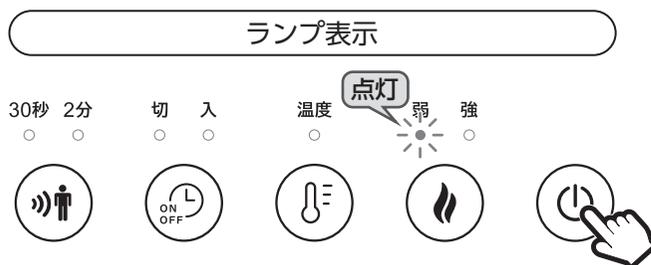
初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る
ことがあります。故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

■ 運転を開始する

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 『電源』ボタンを押します。
『暖房』ランプ「弱」が点灯して、「弱」で運転を開始します。
ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。



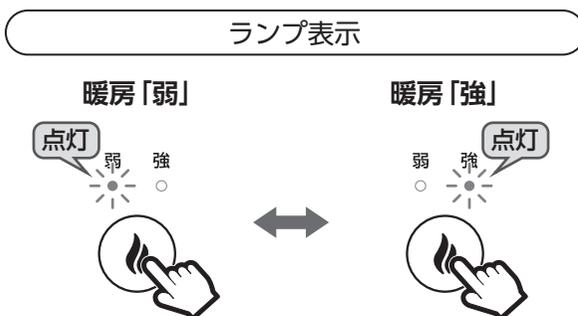
暖房の強さを切り替える

■ 暖房の強さを切り替える

運転中に『暖房』ボタンを押します。

『暖房』ボタンを押すたびに暖房の「強」と「弱」が切り替わり、設定にあわせて点灯する『暖房』ランプも切り替わります。

メモ 暖房の「強」と「弱」の切り替えは、ヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。



ご使用方法

停止する

■ 運転を停止する

運転中に『電源』ボタンを押します。

“ピーッ”と電子音が鳴ってディスプレイ表示と各ランプが消灯し、内部冷却のため約30秒間の送風運転したあと、運転が停止します。

警告



接触禁止

運転中と運転停止直後は、温風吹出口の周囲に触れないでください。
高温になっているため、やけどのおそれがあります。

注意



必ず守る

- ・長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグを抜く場合は、必ず先に『電源』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

自動オフタイマー機能

電源の消し忘れを防止するため、最後の操作から10時間後に自動停止します。

※節電センサーモードと温度設定モード設定中は、自動オフタイマー機能は作動しません。

減灯機能

約15秒後に減灯機能が働き、ディスプレイ表示と各ランプが暗くなります。

メモリー機能

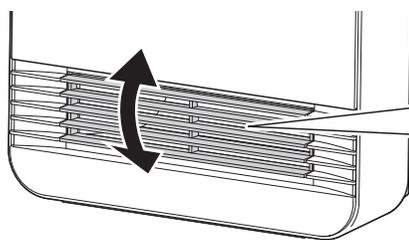
一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定と温度設定モードは除く)

初めてご使用になるときや電源プラグを差し直したときは、「弱」で運転を開始します。

風向きを変える

■ 風向きの変えかた

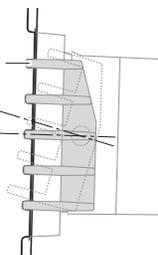
ルーバーを上下に動かして
風の向きを調整します。



● ルーバー可動範囲

ルーバー

約15°



温度設定モード(自動運転)

- 周囲温度にあわせて自動で運転と停止を行います。

例：温度設定26℃ 周囲温度26℃以上 ⇒ 停止(待機状態/『温度設定』ランプが点滅)

周囲温度24℃以下 ⇒ 運転開始

※周囲温度は、本体内蔵の温度センサーが感知する温度となります。

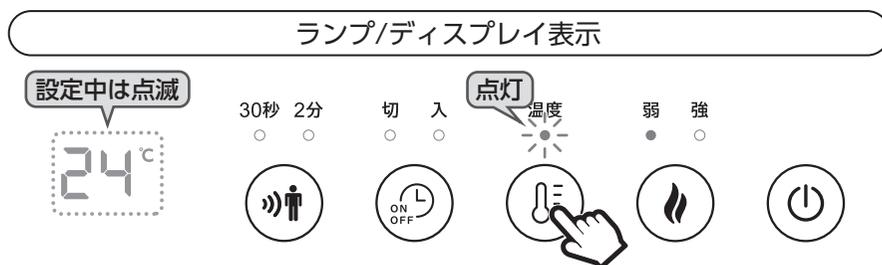
- 設定可能な温度は18℃～30℃です。

メモ 温度設定モード中も暖房の強さ「強」と「弱」を切り替えることができます。

■ 温度設定モードを設定する

- ① 運転中に『温度設定』ボタンを押します。

『温度設定』ランプが点灯し、ディスプレイに設定温度が点滅表示されます。



- ② ディスプレイの点滅中に『温度設定』ボタンを押して温度を設定します。

『温度設定』ボタンを押すたびに設定温度が1℃ずつ上がります。

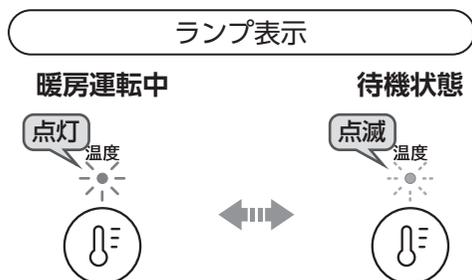
点滅時間は約5秒間です。点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた温度で設定されます。



- ③ 温度を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。

■ 温度設定モード設定中のランプ表示

待機状態になると『温度設定』ランプが点滅します。



■ 温度設定モードを解除する

ディスプレイに「--」と表示されるまで、『温度設定』ボタンを繰り返し押します。ディスプレイと『温度設定』ランプが消灯して、温度設定モードが解除されます。

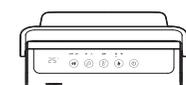
ご使用方法

節電センサーモード(自動運転)

人の動きを感知して自動で運転と停止を行います。

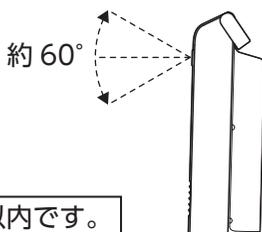
■ 節電センサーの感知範囲

左右方向 感知範囲



約 60°

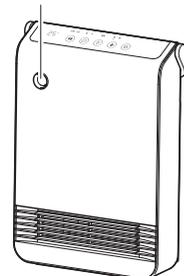
上下方向 感知範囲



約 60°

感知距離は、約2m以内です。

節電センサー



■ 設置環境

● 節電センサーの特性上、次のような場所では作動しなかったり、誤作動したりする場合があります。

- カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- 節電センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- エアコンなどの送風を受ける場所
- 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- 湿度の高い場所や加湿器の近く

● 人がいても、ゆっくりとした動きや速い動き、小さい動き、じっとしているときなどには節電センサーは感知しません。

● ペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

■ 節電センサーモードを設定する

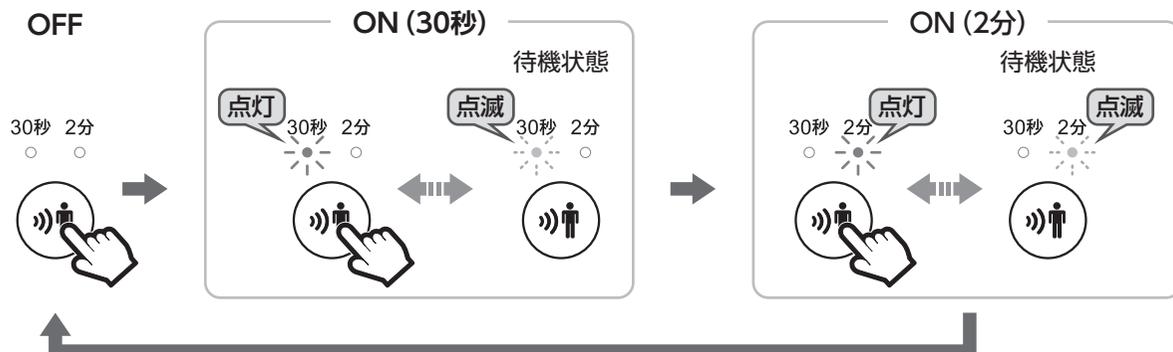
運転中に『節電センサー』ボタンを押します。

『節電センサー』ボタンを押すたびに節電センサーモードが「ON (30秒)」、「ON (2分)」、「OFF」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『節電センサー』ランプも切り替わります。

メモ

節電センサーモードが「ON (30秒)」設定時は30秒、「ON (2分)」設定時は2分間、連続で人を感知しないと「節電センサー」ランプが点滅して待機状態となり、送風運転(約30秒間)したあとに運転を停止します。待機中に節電センサーが人を感知すると"ピッ"と電子音が鳴り、運転を再開します。

ランプ表示



■ 節電センサーモードを解除する

『節電センサー』ランプが消灯するまで『節電センサー』ボタンを繰り返し押します。

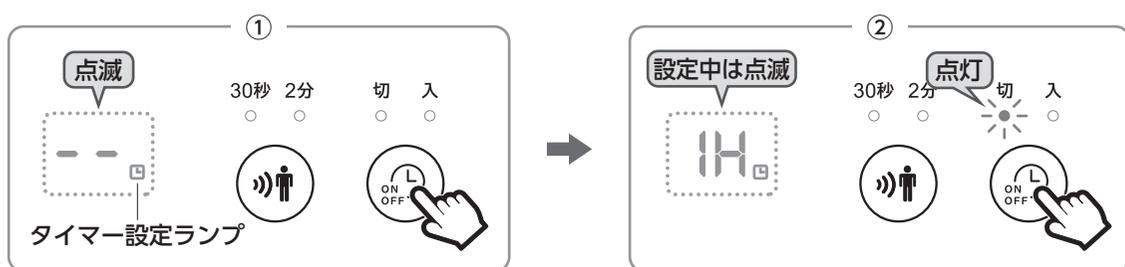
オフタイマーを使う

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーを設定する

- ① 運転中に『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに「--」を点滅表示します。
点滅時間は約5秒間です。
- ② ディスプレイの点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すと設定時間が切り替わり、『タイマー』ランプ「切」が点灯します。

ランプ/ディスプレイ表示



- ③ ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。

ディスプレイ表示



ランプ表示



- ④ 時間を設定したあと、ディスプレイが点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
残り時間は1時間経過するたびに切り替わって表示されます。
- ⑤ 設定した時間が経過すると運転を停止します。

■ オフタイマーを解除する

ディスプレイに「--」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押します。
ディスプレイの設定時間表示と『タイマー』ランプ「切」と消灯して、オフタイマーが解除されます。

■ 温度設定モードとオフタイマーを同時に設定したときのディスプレイ表示

設定温度が表示され、タイマー設定ランプが点灯します。

ディスプレイ表示

25℃

ご使用方法

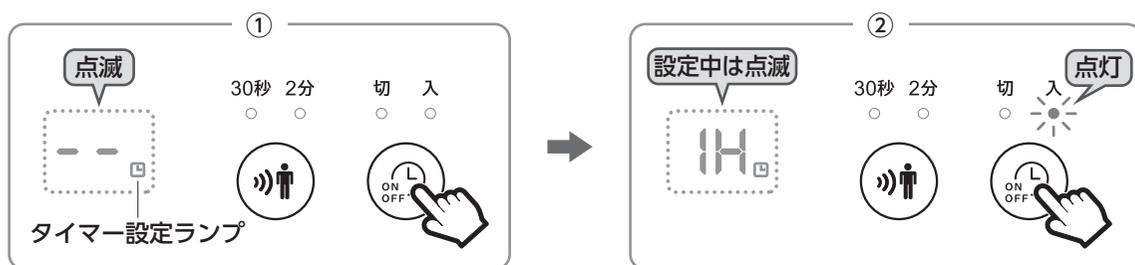
オンタイマーを使う

1～8時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーを設定する

- ① 待機中に『タイマー』ボタンを押すと、ディスプレイに「--」を点滅表示します。
 - ・点滅時間は約5秒間です。
 - ・同時に停止前に動作していたランプが点灯します。
- ② ディスプレイの点滅中にもう一度『タイマー』ボタンを押すと設定時間が切り替わり、『タイマー』ランプ「入」が点灯します。

ランプ/ディスプレイ表示



- ③ ディスプレイの点滅中に『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
『タイマー』ボタンを押すたびに設定時間が1時間ずつ増えます。
点滅中に他のボタンを押した場合は、表示していた時間で設定されます。

ディスプレイ表示



ランプ表示



- ④ 時間を設定したあと、ディスプレイが点滅から点灯に切り替わると、設定完了となります。
 - ・運転開始までは『タイマー』ランプ「入」のみ点灯します。
 - ・残り時間を確認したいときは、『電源』ボタン以外のボタンを押してください。
残り時間は1時間経過するごとに切り替わって表示されます。
- ⑤ 設定した時間が経過すると、“ピッ”と電子音が鳴って記憶された運転モードで運転を開始します。

■ オンタイマーを解除する

『タイマー』ボタンを押してディスプレイを点滅表示させたあと、「--」と表示されるまで『タイマー』ボタンを繰り返し押すか、『電源』ボタンを押すと、“ピーッ”と電子音が鳴って待機状態になります。

■ 運転開始時の動作を設定/変更する

『電源』ボタン以外のボタンを押すと、運転開始時の動作を設定または変更することができます。設定した動作のランプが約5秒後に消灯すると、設定完了となります。

お手入れと保管方法

警告



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分に冷えてからお手入れをしてください。
感電やケガ、やけどの原因になります。

各部のお手入れは2週間に1回以上行ってください。

■ 本体のお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

■ フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口のお手入れ

フィルターカバーを取り外して、吸気フィルターと吸気口のお手入れをしてください。

フィルターカバー

- すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取り、本体と同様のお手入れをしてください。
- 取り外した状態で水洗いもできます。
水洗いをしたあとは水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。

吸気フィルター

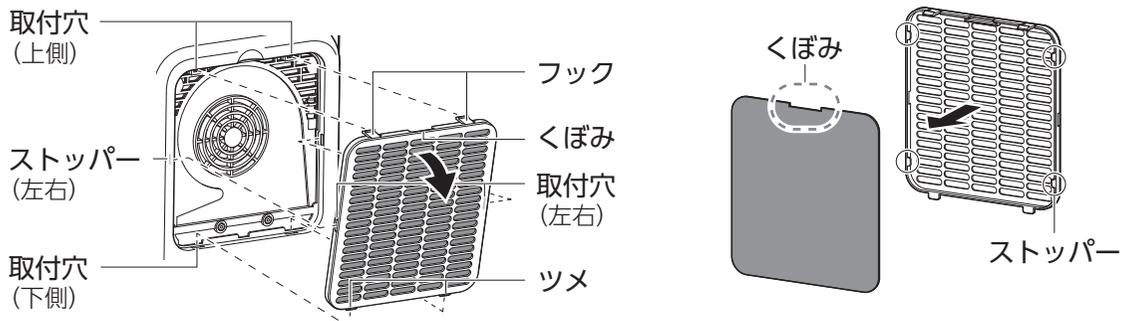
水洗いをしたあと陰干しをして十分に乾かしてください。

吸気口

すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。

■ フィルターカバーと吸気フィルターの取り外し/取り付けかた

- ① フィルターカバーを本体から取り外します。
くぼみに指をかけて手前に引いてください。
- ② 吸気フィルターをフィルターカバーから取り外します。



- ③ 次の内容に注意して取り外しと逆の手順で取り付けます。

● 吸気フィルター

くぼみを上に向け、フィルターカバーからはみ出さないようにストッパー (4か所) の内側に引っ掛けてください。

● フィルターカバー

ツメ (2か所) を取付穴 (下側) に差し込みながら、フック (2か所) を取付穴 (上側) に引っ掛けたあと、フィルターカバーの両端を押さえてストッパーを取付穴 (左右) にはめ込み込んでください。

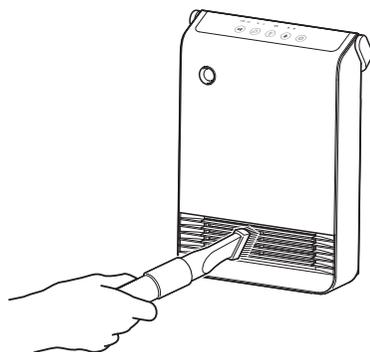
■ 温風吹出口 (送風口) のお手入れ

ガードのすき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

温風吹出口周囲の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては温風吹出口の周囲が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。また変色や変形の原因になりますので、次のようなご使用方法はお避けください。

- 吸気口や吸気フィルターにホコリが詰まった状態での使用。
- 吸気口、温風吹出口付近に障害物がある状態での使用。
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用。



■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- 本体にポリ袋をかぶせてお買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

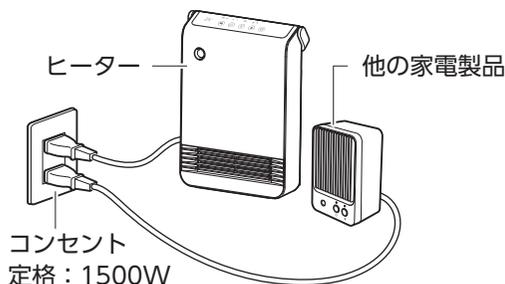
コンセントの点検

● コンセントなどの配線器具には寿命があります。

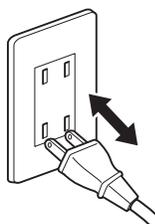
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

誤った使いかたの例

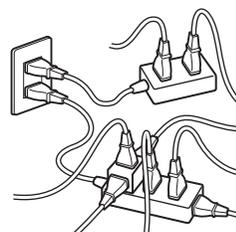
✕ 定格容量いっぱいで使用する



✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



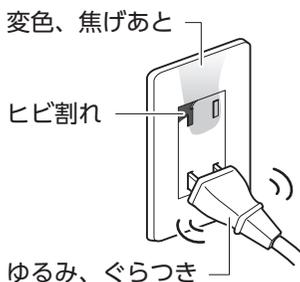
✕ タコ足配線する



● 次のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- 電源プラグの抜き差しがゆるい。
- 電源プラグやコンセントが熱い。
- 表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- 表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



⚠ 注意



禁止

破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。焼損や火災、事故の原因となります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 電源が「OFF」になっている。 安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている) 内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 「電源」ボタンを押してください。 安定した平らな床面でお使いください。 本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 節電センサーモードまたは温度設定モードを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。 設定中のモードを切り替えて、ご確認ください。
電源を切っても停止しない	<ul style="list-style-type: none"> 運転停止直後である。 	<ul style="list-style-type: none"> 運転停止直後は、ヒーターの冷却のため約30秒送風が続きます。故障ではありません。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水平な場所に設置してください。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> はじめて運転をしたため。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめてご使用になる時は、においや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。 吸気口や吸気フィルター、温風吹出口のお手入れをしてください。
節電センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> 節電センサーモードに設定されていない。 節電センサーに直射日光が当たる場所や、カーテンなど風で揺れるものの近くに設置している。 節電センサーの感知範囲を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「節電センサー」ボタンを押して節電センサーモードに切り替えてください。 設置環境について、P.9「節電センサーモード(自動運転)」をご確認ください。 節電センサー感知範囲内でお使いください。
電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> 自動オフタイマーが作動した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「電源」ボタンを押して運転を再開してください。
温風が停止した	<ul style="list-style-type: none"> 温度設定モードで周囲温度が設定温度に達した。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度が設定温度に達すると、待機状態となり「温度設定」ランプが点滅します。周囲温度が下がるまで待つか、設定温度を変更してください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長年ご使用のヒーターはよく点検を行ってください。

●このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが破損した。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。